

《大規模プロジェクトなどの進捗状況》

- 平成19年度以降新たに実施している事業のうち、複数年度にわたり大きな財政負担を伴う以下の事業について、目標や後年度の財政負担など、その全体計画の概要を「東京都予算案の概要」において公表しています。
- これらの事業の平成22年度決算見込みを踏まえて、その進捗状況などを公表します。

古川地下調節池整備

所管：建設局 開始年度：平成19年度

◇ 目 標

洪水の一部を流入させて貯留する「調節池」（調節容量約13万5千 m^3 ）を整備し、時間雨量50mmに対応させることで、近年頻発する集中豪雨水害の軽減を図ります。

◇ 平成22年度の進捗状況等

- ・ 引き続き発進立坑工事を実施し、シールドマシンが完成しました。また、取水立坑工事等に着手しました。

総事業費	22年度計画額	22年度決算額	執行累計額
209億円	43億円	41億円	80億円

◇ 今後のスケジュール

平成23年度は、発進立坑を完成させ、掘削を開始するほか、引き続き取水立坑工事を継続します。また、今後の工事について早期発注に努め、27年度に予定している整備完了時期の前倒しを目指します。

東京都美術館の改修

所管：生活文化局 開始年度：平成19年度

◇ 目 標

建築後30年余を経過し施設が老朽化していることから、改修を行うとともに、バリアフリー化等入場者の利便性の向上を図ります。

◇ 平成22年度の進捗状況等

- ・ 引き続き改修工事を実施しました。

総事業費	22年度計画額	22年度決算額	執行累計額
131億円	6億円	5億円	28億円

◇ 今後のスケジュール

平成23年度は、引き続き工事を行い、計画どおり24年度の開館を目指します。

健康危機管理センター（仮称）の施設整備 所管：福祉保健局 開始年度：平成19年度

◇ 目 標

健康安全研究センターを、健康危機情報の収集・解析機能などを強化した健康危機管理センター（仮称）として整備することにより、新型インフルエンザの大規模流行など新たな健康危機の脅威への対応力を強化します。

◇ 平成22年度の進捗状況等

- 引き続き新棟の建築工事を行うとともに、既存棟において危険度の高い感染症に備えた検査施設の増設工事を実施しました。

総事業費	22年度計画額	22年度決算額	執行累計額
150億円	13億円	10億円	28億円

◇ 今後のスケジュール

平成23年度は、引き続き新棟の建築工事を行い、計画どおり24年度の全面開設を目指します。

ウイルス肝炎受療促進集中戦略

所管：福祉保健局 開始年度：平成19年度

◇ 目 標

肝がんなどに進行する可能性の高いウイルス肝炎対策として、検診の受診促進や、抗ウイルス療法に対する通院医療費の助成などを国に先駆け短期集中的に実施することで、肝炎治療を確実に促進します。

◇ 平成22年度の進捗状況等

- 検診の受療促進については、東京都広報等を通じた普及啓発活動を実施しました。
- 医療費助成については、普及啓発活動や受診しやすい仕組みづくりに取り組んだ結果着実に助成実績を伸ばしました。

<医療費助成者数>

総計画数	22年度計画	22年度実績	累計助成者数
9,000人	1,900人	1,906人	8,720人

<事業費>

総事業費	22年度計画額	22年度決算額	執行累計額
63億円	15億円	11億円	42億円

◇ 今後のスケジュール

平成23年度は、引き続き検診受療の普及啓発や医療費助成を行うとともに、肝疾患診療連携拠点病院を選定し、肝疾患相談センターを設置するほか、専門医やかかりつけ医への研修会を実施して医療水準の向上等を図っていきます。

白子川地下調節池の整備

所管：建設局 開始年度：平成21年度

◇ 目 標

洪水の一部を流入させて貯留する「調節池」（調節容量約21万2千m³）を整備し、時間雨量50mmに対応させることで、近年頻発する集中豪雨水害の軽減を図ります。

◇ 平成22年度の進捗状況等

- ・ シールドマシン製作及び到達立坑工事に着手しました。
- ・ 地下調節池整備工事において、入札時に技術提案を受け、工期短縮などを図ったことにより、大幅に総事業費を縮減しました。

総事業費	22年度計画額	22年度決算額	執行累計額
245億円	28億円	14億円	16億円

◇ 今後のスケジュール

平成23年度は、引き続きシールドマシン製作及び到達立坑工事を実施します。また、今後の工事について早期発注に努め、整備完了時期の前倒しを目指します。